

市町村提案・実施事業 成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 23 年度

市町村名	富士見市			
提案事業名	ふじみ地域資源魅力再発見事業			
事業期間	23 年度	～	23 年度	
事業の必要性、目的	<p>地域資源を活用し、地域全体の魅力をアップさせ、自転車利用者をはじめとする多くの来訪者を呼び込み、地域のにぎわいを創出するためには、個々の地域資源を連携させるためのネットワーク化を進める必要がある。このため、本市においては、「時を伝えるネットワーク」を総合振興計画に位置付け、サイクルネットワークの整備に取り組んでいる。また、当市内では、同時並行的に、県が「ぐるっと埼玉ネットワーク構想」を推進したり、地元の協働事業実行委員会がサイクリングモデルコースを設定するなど、サイクルネットワーク整備のための取組も行われている。江川堤防については、このサイクルネットワーク全体を形成するために重要な位置を占めており、サイクルネットワークの全体の連絡性、利便性を高めるためには、この堤防の整備が欠かせないものとなっている。</p>			
成果指標	(成果を検証する指標) 市への観光入込客数			
	(成果検証の具体的な方法) 市への観光入込客数の比較を行い、原因の分析を行う。			
	(上記の指標を設定した理由) 本事業の実施目的は、地域資源を活用し来訪者（観光者）を増加させることによる地域活性化であるため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (22年 月現在)	612,000人（年間）	目標値 (24年 月時点)	656,000人（年間）
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標) (人)		稼働率(目標) (%)	
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページ等による公表及び市民参加による各種会議等における意見の聴取等を実施し、今後の改善策検討のための資料とする。			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成 年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① ふじみサイクルネットワーク整備事業	ハード 地域資源を結ぶサイクルネットワークを整備し、多くの来訪者（観光者）が「集い」「賑わい」「交流」することによる地域の活性化を目指す。なお、県のぐるっと埼玉ネットワーク構想及び埼玉南西部における自転車活用による地域づくり協働事業実行委員会事業との連携を図ることにより、より多くの来訪者（観光者）が期待できる。	29,000
②	ハード ソフト 実行委 間接補	
③	ハード ソフト 実行委 間接補	
合計		29,000

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	県のぐるっと埼玉ネットワーク構想や埼玉南西部の自転車活用による地域づくり協働事業実行委員会事業との連携による広域的なPRとこれらを活用したイベント等の実施（前記実行委員会）等により来訪者（観光者）の興味を促し、体験（触れる）することにより、満足度の向上及びリピーターを増加させる。
成果指標の達成見込み	それぞれの地域資源については、もともと単体として十分な魅力を有しており、サイクルネットワークを通してこれらが複数組み合わせられることによる相乗効果等も期待できることから、達成は可能と考える。